

予算要求課	消防総務課	内線 2119
-------	-------	---------

金額の単位は、千円

款	8	消防費	項	1	消防費	目	1	常備消防費
事業名	81100	消防本部運営費						

新規	継続	拡大	縮小
		○	

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		32,629	49,512	16,883	46,627	通信指令関係機器修繕の増 白川村派遣職員受入負担金の増	46,627	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他	4,975	3,698	△ 1,277	9,963		9,963	
一般財源		27,654	45,814	18,160	36,664		36,664	

事業の目的			
<ul style="list-style-type: none"> 市民生活の安全を確保するため、消防体制の充実や関係機関との連携を強化する。 119番通報に対する迅速・的確な対応を行い、市民の生活と生命・財産を守る。 			
事業実施の課題			
<ul style="list-style-type: none"> 行政改革大綱に基づき職員数を削減しているため、職員の平均年齢の上昇が見られる。 通信指令システムを導入してから5年が経過したため、部品等の更新が必要である。 市域が広大で交通の便が悪く、登山者による事故等も多いため、県防災ヘリの常駐が強く望まれる。 			
事業概要			
<ul style="list-style-type: none"> 消防本部の運営、関係機関との連携・調整、大野郡白川村の消防事務の受託 通信指令システムの維持管理 県の防災ヘリコプターの飛騨地域常駐のための関係機関との打ち合せ、県への要望 			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
成果			
改修等により通信指令システムの安定化が図られる。			
要求額増減理由			
機器更新、改修等による増			

①総合計画		
(2) 「すみよさ」のあるまちをめざして		
安全		
(1) 日常生活における安全を確保する		
① 消防体制の充実		
②実施計画・中期財政計画		
3 「すみよさ」のあるまちをめざして		
(9) 安全		
ソフト		
常備消防運営事業		
③事業評価		
事業名		今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		
6 市民の生活と生命・財産を守ります		
防災ヘリコプターの飛騨地域常駐を実現させます。		

予算要求課	消防総務課	内線 2119
-------	-------	---------

金額の単位は、千円

款	8	消防費	項	1	消防費	目	1	常備消防費
事業名	81110	消防署運営費						

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		28,155	31,284	3,129	27,555	修繕箇所の減 その他、積算内容の精査による	27,555	財務部査定のとおりに
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他	2,281	2,651	370	2,362			
一般財源	25,874	28,633	2,759	25,193		25,193		

事業の目的			
地域の防災拠点である消防施設の適正な維持管理を行う。			
事業実施の課題			
消防施設の老朽化により機械や器具の修繕が増えてきている。			
事業概要			
消防庁舎(本署1、分署3、出張所4)や機械器具の維持管理 (うち、白川出張所は白川村から消防事務を受託している)			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
成果			
災害時における地域防災拠点の適正な維持管理が図られる。			
要求額増減理由			
施設・器具修繕料の増			

①総合計画		
(2) 「すみよさ」のあるまちをめざして		
安全		
(1) 日常生活における安全を確保する		
① 消防体制の充実		
②実施計画・中期財政計画		
3 「すみよさ」のあるまちをめざして		
(9) 安全		
ソフト		
常備消防運営事業		
③事業評価		
事業名		今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト 成果	
実施方針		
④市長の約束		

予算要求課	予防課	内線	2118
-------	-----	----	------

金額の単位は、千円

款	8	消防費	項	1	消防費	目	1	常備消防費
事業名	81115	予防事業費						

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		1,100	1,831	731	1,100	前年同額	1,100	財務部査定のとおりに
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	1,071	989	△ 82	875		875	
	起債			0				
	その他	29	842	813	225		225	
	一般財源	0	0	0	0		0	

事業の目的			
市民生活の安全を守るため、火災予防対策の実施や啓発活動の実施などにより、防火意識の高揚や防火知識の普及を図る。			
事業実施の課題			
建物火災による死傷者を軽減するため、住宅用火災警報器の設置を推進する必要がある。火災が増加傾向にある中で、防火対象物に対する安全対策や林野火災防止対策に一層取り組む必要がある。			
事業概要			
防火管理体制の充実、危険物施設の自主保安体制の充実、火災予防運動の展開、火災原因損害調査、住宅用火災警報器の設置促進、火薬類取締法令規制・保安管理体制の充実 他			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
防火管理講習(回)	3	3	3
火災予防運動(回)	3	3	3
住宅用火災警報器の設置促進イベント(回)	4	9	3
成果			
<ul style="list-style-type: none"> 防火意識の向上 火災による犠牲者の減少 			
要求額増減理由			
住宅用火災警報器促進に係る経費の増			

①総合計画		
(2) 「すみよさ」のあるまちをめざして		
安全		
(1) 日常生活における安全を確保する		
① 消防体制の充実		
②実施計画・中期財政計画		
3 「すみよさ」のあるまちをめざして		
(9) 安全		
ソフト		
火災予防事業		
③事業評価		
事業名		今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		

予算要求課	警防課	内線 2117
-------	-----	---------

金額の単位は、千円

款	8	消防費	項	1	消防費	目	1	常備消防費
事業名	81120		警防事業費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		14,430	20,067	5,637	15,050	空気ポンベ検査分の増	15,050	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他	1,250	1,998	748	750		750	
一般財源		13,180	18,069	4,889	14,300		14,300	

事業の目的			
市民生活の安全を守るため、消防車両、消防・救助資機材の維持管理を行う。			
事業実施の課題			
消防自動車などの特殊車両については老朽化が進んでおり、更新期を迎えるまでの間の安全運行を確保するための修繕費が高額となっている。			
空気ポンベは高圧容器であり、3年毎に高圧ガス保安法に基づく定期検査が必要となるが、平成22年度14本に対して平成23年度は75本が対象であることから、手数料の執行額が増加する。			
事業概要			
空気ポンベの容器再点検 消防自動車等の安全運行に係る修繕及び自動車燃料 消防・救助資機材の修繕及び維持管理			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
空気ポンベ再検査(本)	20	14	75
都市型ロープレスキュー資機材の整備	大野分署	白川出張所	荘川出張所
成果			
消防・救助資機材の維持管理による公務災害等の防止、安全管理の徹底 災害現場対応力の強化、署所間連携の強化により市民の安全が守られる。			
要求額増減理由			
空気ポンベ容器再検査対象本数の増 消防車両及び資機材の老朽化による修繕費の増			

①総合計画		
(2)「すみよさ」のあるまちをめざして		
安全		
(1)日常生活における安全を確保する		
①消防体制の充実		
②実施計画・中期財政計画		
3「すみよさ」のあるまちをめざして		
(9) 安全		
ソフト		
常備消防運営事業費		
③事業評価		
事業名		今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		

予算要求課	救急課	内線2119
-------	-----	--------

金額の単位は、千円

款	8	消防費	項	1	消防費	目	1	常備消防費
事業名	81125	救急事業費						

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		9,277	11,179	1,902	9,327	救急救命士研修関係費用の増	9,327	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他	9,265	11,179	1,914	9,327		9,327	
	一般財源	12	0	△ 12	0		0	

事業の目的				
救急体制の充実、強化や救急救命士の資質向上を図り、応急手当の普及啓発を実施することで市民が安心して暮らせるまちづくりを推進する。				
事業実施の課題				
高齢化等により、救急出場が増加している。 救急救命士の全隊配置と技能向上				
事業概要				
救急救命士の医療機関での研修 救急活動に伴う救急資器材整備、救急業務体制の強化 救命講習の実施				
	計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
救急救命士病院実習(人)		23	24	25
救急救命士薬剤投与実習(人)		2	2	2
救急救命士気管挿管実習(人)		2	1	1
応急手当講習受講者(人)		4,859	5,000	5,000
成果				
救急体制の充実、強化を図ることで市民が安全で安心して暮らせる。 多くの市民に救命講習を実施することで、自主救護能力の向上と救命率向上が期待できる。				
要求額増減理由				
救急資材・医薬品購入費等の増				

①総合計画		
(1)「やさしさ」のあるまちをめざして		
健康・保健・医療		
(2)いつでも安心して医療が受けられる環境を整備する		
②救急医療体制の整備		
②実施計画・中期財政計画		
2「やさしさ」のあるまちをめざして		
健康・保健・医療		
ソフト		
常備救急運営事業、救急救命士育成事業、救急技術普及啓発事業		
③事業評価		
事業名		今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		

予算要求課	消防総務課	内線 2119
-------	-------	---------

金額の単位は、千円

款	8	消防費	項	1	消防費	目	2	消防団費
事業名	81200	消防団運営費						

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		280,510	261,405	△ 19,105	250,508	役員非改選期による退職報償金の減	250,508	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	280,510	261,405	△ 19,105	250,508		250,508	

事業の目的			
市民の生命、身体及び財産を守るため、消防団の活性化を図り、団員を育成し、施設、設備を維持管理し、災害時の出動体制の充実を図る。			
事業実施の課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・団員の減少に伴う班車両・車庫の維持、管理 ・団員の確保対策の検討 			
事業概要			
消防団の運営。車庫、車両の維持管理 装備品の貸与 消防技術の向上に資する大会・訓練の実施			
	計画・実績・見込	H21実績	H22見込
団員数(人)		1,936	1,938
成果			
消防団の継続的な運営の充実 消防操法技術の更なる向上、消防技術の習得			
要求額増減理由			
退職予定者数の減			

①総合計画		
(2)「すみよさ」のあるまちをめざして		
安全		
(1)日常生活における安全を確保する		
①消防体制の充実		
②実施計画・中期財政計画		
3「すみよさ」のあるまちをめざして		
(9)安全		
ソフト		
消防団運営事業		
③事業評価		
事業名	消防団運営事業	今後の方向性
評価区分	Ⅲ	高齢化や生活スタイルの多様化により、消防団員は年々減少傾向にある。自分たちの地域は自分たちで守るという自助及び共助を推進するためにも、消防団員の確保は引き続き実施していく必要がある。そのためには、市民が消防団への加入を敬遠する要因を分析し、消防団とともにその要因を取り除くなどの取組みが必要である。
コスト・成果ポジション	コスト 中	成果 中
実施方針	「Ⅱ」以上の水準に向けた改善が必要	
④市長の約束		

予算要求課	消防総務課	内線 2119
-------	-------	---------

金額の単位は、千円

款	8	消防費	項	1	消防費	目	2	消防団費
事業名	81205		市消防協会補助金事業					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		5,400	5,276	△ 124	5,400	前年同額	5,400	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	5,400	5,276	△ 124	5,400		5,400	

事業の目的			
消防協会は消防団員を会員とし、消防思想の普及や技術向上など消防事業の発展のための活動を行う団体であり、活動を助成することにより、消防力の維持向上が図られる。			
事業実施の課題			
会員(消防団員)の減少が進んでいるため、入団促進に向けての対策の検討が必要である。			
事業概要			
市消防協会に対する助成			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
成果			
住宅火災警報機の設置等による火災予防の啓発 操法大会による消防操法技術の更なる向上、合同訓練実施による消防技術の習得 消防団員の弔慰救済および福利厚生			
要求額増減理由			
協会運営費の減			

①総合計画		
(2)「すみよさ」のあるまちをめざして		
安全		
(1)日常生活における安全を確保する		
①消防体制の充実		
②実施計画・中期財政計画		
3「すみよさ」のあるまちをめざして		
(9)安全		
ソフト		
消防団運営事業		
③事業評価		
事業名		今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		

予算要求課	消防総務課	内線 2119
-------	-------	---------

金額の単位は、千円

款	8	消防費	項	1	消防費	目	3	消防施設費
事業名	81300	消防施設整備事業						

新規	継続	拡大	縮小
		○	

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		11,000	35,938	24,938	22,500	更新計画に基づくもの、必要性の高いものを実施 消防団車庫2棟ほか	22,500	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	11,000	35,938	24,938	22,500		22,500	

事業の目的				
署所や消防団車庫など消防施設の整備を行うことにより、地域の防災拠点の充実を図る。				
事業実施の課題				
<ul style="list-style-type: none"> 消防庁舎や設備、消防団車庫の老朽化対策 消防救急無線のデジタル化 				
事業概要				
消防庁舎、設備の改修、消防救急デジタル無線整備に伴う基地局位置の調査 消防団車庫の改修、更新整備				
	計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
消防庁舎改修工事件数(件)		2	2	4
消防団車庫新築更新件数(件)		1	1	1
成果				
災害対応力の強化 デジタル無線基地局調査による整備計画の具体化				
要求額増減理由				
修繕箇所が増加などによる増				

①総合計画		
(2) 「すみよさ」のあるまちをめざして		
安全		
(1) 日常生活における安全を確保する		
① 消防体制の充実		
②実施計画・中期財政計画		
3 「すみよさ」のあるまちをめざして		
(9) 安全		
ハード		
消防施設維持修繕・改修事業、消防団車庫整備事業		
③事業評価		
事業名		今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		

予算要求課	消防総務課、救急課	内線 2119
-------	-----------	---------

金額の単位は、千円

款	8	消防費	項	1	消防費	目	3	消防施設費
事業名	81305	消防車両整備事業費						

新規	継続	拡大	縮小
		○	

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		31,000	68,524	37,524	76,500	高規格救急車1台 消防団車両3台更新	76,500	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金		9,535	9,535	9,753		9,753	
	県支出金			0				
	起債	16,200		△ 16,200				
	その他			0				
一般財源		14,800	58,989	44,189	66,747	66,747		

事業の目的			
消防・救急車両及び車載装備品の更新を行う			
事業実施の課題			
救急搬送の増加に伴い、救急車両の損耗が生じている。 団員数の減少により、車両の維持管理が難しくなっている班もある。(班の統合検討) 消防団の消防車両は台数が多く、車両の更新が進んでいない。 消防団車両更新計画の確立			
事業概要			
高規格救急自動車の更新 消防車両の更新			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
救急自動車(台)	0	0	1
消防団車両 消防ポンプ車(台)	2	2	2
小型動力ポンプ積載車(台)	1	0	0
成果			
救急活動において傷病者への適切な処置、病態改善、社会復帰率の向上が図られる。 計画的な車両・資器材整備による消防力の向上。 高性能で使い易い車両となっていることから団員の高齢化にも対応できる。			
要求額増減理由			
高規格救急自動車の更新等により増			

①総合計画		
(2)「すみよさ」のあるまちをめざして		
安全		
(1)日常生活における安全を確保する		
①消防体制の充実		
②実施計画・中期財政計画		
3「すみよさ」のあるまちをめざして		
(9)安全		
ハード		
消防団車両整備事業		
③事業評価		
事業名	消防団車両整備事業	今後の方向性
評価区分	Ⅲ	消防団の全体のあり方をはっきりさせる必要があり、その後、配置基準に基づき団車両を整備していくことが効率的である。 そのため、各団の意見も聞きながら分団や班の再編についても検討する必要がある。
コスト・成果ポジション	コスト 中	成果 中
実施方針	「Ⅱ」以上の水準に向けた改善が必要	
④市長の約束		

予算要求課	防災課	内線2117
-------	-----	--------

金額の単位は、千円

款	8	消防費	項	1	消防費	目	3	消防施設費
事業名	81310	防火水槽整備事業費						

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		15,000	24,817	9,817	22,370	耐震性貯水槽新設2基 既設防火水槽改修等2基	22,370	財務部査定のとおりに
財源内訳	国庫支出金	5,236	5,236	0	5,236		5,236	
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他		6,169	6,169	6,170		6,170	
	一般財源	9,764	13,412	3,648	10,964		10,964	

事業の目的			
想定される各種災害の被害をより一層軽減させるため、耐震性貯水槽の充実を図る。			
事業実施の課題			
地下貯水タンクを設置するため、地質や近隣の状況により工事費に影響が生じる。			
事業概要			
耐震性貯水槽及び附属する消防ホース用の軽可搬ポンプの整備 既設防火水槽の改修、撤去			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
耐震性貯水槽の新設(基)	4	2	2
成果			
各災害時の被害軽減と住民の防災意識の向上			
要求額増減理由			
既存防火水槽の改修及び撤去による増			

①総合計画		
(2)「すみよさ」のあるまちをめざして		
安全		
(1)日常生活における安全を確保する		
①消防体制の充実		
②実施計画・中期財政計画		
3「すみよさ」のあるまちをめざして		
(9)安全		
ハード		
防火水槽整備事業		
③事業評価		
事業名	今後の方向性	
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		

予算要求課	防災課	内線 2117
-------	-----	---------

金額の単位は、千円

款	8	消防費	項	1	消防費	目	3	消防施設費
事業名	81315	消防水利施設整備事業費						

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		11,850	18,640	6,790	11,840	ほぼ前年同額	11,840	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	11,850	18,640	6,790	11,840		11,840	

事業の目的			
消防水利(防火水槽・消火栓)の適正な維持管理を行うことにより、火災時における効果的な消火活動ができる体制を維持し被害を軽減する。			
事業実施の課題			
防火水槽の老朽化が進み、漏水修繕が増加している。			
事業概要			
防火水槽の修繕・汚泥処理、消火栓・水利標識の再生(再塗装)、消防水利の冬期対策 水道事業への水利施設維持管理負担			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
消防水利施設修繕(箇所)	21	16	21
成果			
適正な消防水利を維持管理することにより、迅速で効果的な消火活動ができる体制を維持し、火災による被害を軽減することができる。			
要求額増減理由			
計画給水人口の増加による水道会計への繰出金増 老朽化による修繕箇所の増			

①総合計画		
(2)「すみよさ」のあるまちづくりをめざして		
(9)安全		
(1)日常生活における安全を確保する		
①消防体制の充実		
②実施計画・中期財政計画		
(3)「すみよさ」のあるまちづくりをめざして		
安全		
ハード		
消防施設維持修繕・改修事業		
③事業評価		
事業名		今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		

予算要求課	消防総務課、警防課、救急課	内線 2117
-------	---------------	---------

金額の単位は、千円

款	8	消防費	項	1	消防費	目	3	消防施設費
事業名	81320	消防資器材整備事業費						

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		14,800	17,844	3,044	8,000	前年度のみ事業費を減 必要な資器材購入費の増	8,000	財務部査定のとおりに
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他	47	41	△6	247			
	一般財源	14,753	17,803	3,050	7,753			
						247	7,753	

事業の目的				
<ul style="list-style-type: none"> 消防・救助資器材の整備を行い、消防防災体制の充実を図る。 傷病者への高度な救命処置及び適切な救急活動の実施と応急手当普及啓発のため、救急資器材の整備及び更新を行なう。 				
事業実施の課題				
<ul style="list-style-type: none"> 資器材の補充や経年劣化による更新等が必要である。 				
事業概要				
消防、救急、消防団用資器材の整備				
計画・実績・見込		H21実績	H22見込	H23計画
上下式防火衣購入(着)		0	17	17
二相性半自動除細動器への更新(台)		1	1	1
消防署用消防ホースの整備(本)		0	25	25
消防団用消防ホースの整備(本)		95	91	100
成果				
<ul style="list-style-type: none"> 災害現場対応力や消防署所間連携の強化が図れる。 救急活動において傷病者への適切な処置、病態改善、社会復帰率の向上が期待できる。 市民の救護に対する知識、技術の普及を図り、救命率の向上が期待できる。 消防団の消防力の充実強化が期待できる。 				
要求額増減理由				
更新整備する資器材数の増				

①総合計画		
(2)「すみよさ」のあるまちをめざして		
安全		
(1)日常生活における安全を確保する		
①消防体制の充実		
②実施計画・中期財政計画		
3「すみよさ」のあるまちをめざして		
(9)安全		
ハード		
消防・救急資器材整備事業		
③事業評価		
事業名	今後の方向性	
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		

予算要求課	防災課	内線	2117
-------	-----	----	------

金額の単位は、千円

款	8	消防費	項	1	消防費	目	3	消防施設費
事業名	81325	消火栓整備事業負担金						

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		2,800	18,000	15,200	2,000	新設箇所のみの査定 移設分は別に予算措置	2,000	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	2,800	18,000	15,200	2,000		2,000	

事業の目的				
水道事業管理者が行う消火栓の設置等に係る工事費を負担することにより、消火栓の整備を行う。				
事業実施の課題				
道路工事等により、消火栓の不足及び過充足地域の適正配置を行う必要がある。				
事業概要				
水道事業者の行う消火栓の設置・移設及び廃止に係る工事負担金				
	計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
消火栓	新設(基)	3	0	5
	移設(基)	5	7	27(内2基補償)
	廃止(基)	0	0	0
成果				
消火栓の適正配置による水利不足地域の解消及び維持管理経費削減				
要求額増減理由				
消火栓の増(移設・新設)				

①総合計画		
(2)「すみよさ」のあるまちづくりをめざして		
(9)安全		
(1)日常における安全を確保する		
(1)消防体制の充実		
②実施計画・中期財政計画		
(3)「すみよさ」のあるまちづくりをめざして		
安全		
ハード		
消防施設維持修繕・改修事業		
③事業評価		
事業名		今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		

予算要求課	防災課	内線 2117
-------	-----	---------

金額の単位は、千円

款	8	消防費	項	1	消防費	目	3	消防施設費
事業名	81335 自主防災組織育成事業費							

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		700	6,944	6,244	700	前年同額	2,700	消防ホース更新の増
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	700	6,944	6,244	700		2,700	

事業の目的			
自主防災組織の育成・強化による防災体制の充実を図る。			
事業実施の課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織に貸与している資機材の破損及び老朽化が見られる。 ・すべての自主防災組織における年1回以上の訓練に取り組む。 			
事業概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織に対する訓練、指導 ・初期消火資機材の新設・更新、不良資機材の更新 			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
自主防災組織の訓練(回)	231	198	291
地域防災活動協力員による指導(回)	152	150	230
成果			
防災体制の充実			
要求額増減理由			
更新箇所の増			

①総合計画		
(3)「すみよさ」のあるまちをめざして		
防災		
(2) 災害における市民の暮らしを守る		
②災害体制の充実		
②実施計画・中期財政計画		
(3)「すみよさ」のあるまちをめざして		
(8)防災		
ソフト		
自主防災組織育成事業		
③事業評価		
事業名		今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		